

1. 人間科学科授業科目一覧表

《2022年度入学生に適用》

| 区分 | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 履修方法 | | |
|----------|---|--|---|---|---|--------------------------------------|---------------|--|
| 教養科目 | 基礎科目群 | 英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB、初級独語A・B・C・D、初級仏語A・B・C・D、初級中国語A・B・C・D、初級韓国語A・B・C・D 各① | 英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB、 応用英語A・B・C・D、応用独語A・B・C・D、 応用仏語A・B・C・D、応用中国語A・B・C・D、応用韓国語A・B・C・D 各① | | | 英語・中国語・韓国語から同一外国語科目を8単位必修 | | |
| | | 論述・作文A、論述・作文B 各② | | | | 履修必修 | | |
| | | コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各② | コンピュータ応用A、コンピュータ応用B、コンピュータ応用C 各② | | | 「コンピュータ基礎A・B」は履修必修 | | |
| | | 日本語A、日本語B、日本語C、日本語D、応用日本語A、応用日本語B 各① | | | | ※日本語A・B・C・D、応用日本語A、Bは外国人留学生だけが履修できる。 | | |
| | 人文・社会・健康・自然科目群 | 哲学、倫理学、宗教学、日本史、日本近代史、世界史A、世界史B、北海道史、世界の音楽、東洋の美術、ヨーロッパの美術、世界の言語と日本語、言語と社会、言語と数理、日本文学、外国文学、現代と法、日本国憲法、人権論、くらしと現代経済、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、アジア事情A、アジア事情B、教育学、現代の福祉、心理学、健康科学、心理学概説、スポーツと健康、統計学、物理学、地学、地球の科学、自然科学概論、環境論 スポーツA ① | | | | | 6単位以上選択必修 | |
| | | | スポーツB ① | | | | | |
| | 総合科目群 | キャリア | キャリア数学A①、職業と人生A②、キャリアデザイン演習A②、コンピュータサイエンス概論②、データサイエンス概論②、心理学検定演習A②、心理学検定演習B②、心理学検定演習C②、心理学検定演習D②、心理学検定演習E② | キャリア数学B①、職業と人生B②、キャリアデザイン演習B② | | ビジネス数学②、職業と人生C②、職業と人生D② | | |
| | | | | 企業の経営と仕事 ② | | | | |
| | | 総合 | 教養ゼミナールA、教養ゼミナールB 各② | | | | | |
| | 地域連携科目群 | 地域貢献A②、地域貢献B②、地域貢献C②、地域貢献D②、地域貢献活動A①、地域貢献活動B①、地域貢献活動C①、地域貢献活動D① | 全学共通特別演習A、全学共通特別演習B 各② | 全学共通特別演習C、全学共通特別演習D 各② | | | | |
| グローバル科目群 | 異文化グループワークA、異文化グループワークB、プロジェクトマネジメント入門、TOEICトレーニングA、TOEICトレーニングB、TOEICトレーニングC、TOEICトレーニングD、海外スタディⅠ、グローバルインターンシップⅠ、グローバルボランティアⅠ、日本語を教えるA、日本語を教えるB 各② | | | | | | | |
| | | 海外スタディⅡ、グローバルインターンシップⅡ、グローバルボランティアⅡ 各② | | | | | | |
| 計 | | | | | | 教養科目計 24単位以上 | | |
| 区分 | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | | | |
| 専門科目 | 学科共通科目群 | ◎基礎ゼミナール、◎人間科学基礎論 各② | | ◎専門ゼミナールA ◎専門ゼミナールB 各② | ◎専門ゼミナールC、卒業研究 各② | 5科目10単位必修 ◎は必修とする。 | | |
| | | ソーシャルワーク入門演習、心理・教育入門演習、地域文化入門演習 各② | | | | 3科目中1科目2単位選択必修 | | |
| | | | (ソーシャルワーク専攻) ソーシャルワーク演習Ⅰ、ソーシャルワーク演習Ⅱ 各② (心理・教育専攻) フィールドワークの方法、フィールドワークの実際 各② (地域文化専攻) 地域文化演習A、地域文化演習B 各② | | | 所属する専攻の科目を4単位必修 | | |
| | ソーシャルワーク専攻科目群 | 社会学概論、社会福祉論A、障害学、相談援助の基礎と専門職Ⅰ、ソーシャルワーク総論A 各② | 相談援助の基盤と専門職Ⅱ、ソーシャルワーク総論B、ソーシャルワークの方法A 各② | ソーシャルワークの方法B、ソーシャルワーク演習Ⅲ、ソーシャルワーク演習Ⅳ 各② ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ② ソーシャルワーク実習Ⅰ ⑥ | ソーシャルワーク演習Ⅴ ② ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ① ソーシャルワーク実習Ⅱ ② | | | |
| | | 社会福祉論B、医学一般 各② | 社会福祉調査論、社会保障論A、社会保障論B、障害者福祉論、高齢者福祉論、児童福祉論、児童福祉特論、公的扶助論、地域福祉論A、地域福祉論B、医療福祉論、司法福祉論、福祉運営管理論 各② | | | | | |
| | 心理・教育専攻科目群 | ジェンダーの社会学、発達心理学A、発達心理学B、子どもの権利と教育、心理学理論と心理的支援、発達障害教育論、特別支援教育総論、コミュニケーションとアクセシビリティ 各② | | | | | 権利擁護を支える法制度 ② | |
| | | | バリアフリーと教育、共生の思想、教育社会学、子どもの生活環境、健康教育概論、教育心理学A、教育心理学B、社会心理学A、社会心理学B、知的障害者の心理学、病弱教育、知的障害者の生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、知的障害教育Ⅰ、知的障害教育Ⅱ、肢体不自由教育Ⅰ、肢体不自由教育Ⅱ 視覚障害教育総論、聴覚障害教育総論、言語障害教育論 各② | | 重複障害教育総論、特別支援教育各論Ⅰ、特別支援教育各論Ⅱ 各② 特別支援教育実習 ③ | | | |
| | | | | | | | | |
| | 地域文化専攻科目群 | 文化と情報、デジタルアーカイブ論 各② | デジタルアーカイブ演習、地域文化研究法A、地域文化研究法B 各② | 地域情報アーカイブ演習 ② | | | | |
| | | 考古学A、考古学B、民俗学A、民俗学B、生涯学習概論A、生涯学習概論B、北海道史研究A、北海道史研究B、文化人類学、博物館概論、博物館教育論、博物館情報・メディア論 各② | 産業社会学、地域社会論、家族社会学、アジア社会史、口頭史・口頭芸論、文化財概論、文化動態論、地域文化史、北方の歴史・文化、北海道の文学、博物館資料論、英米史A、英米史B 各② | | | | | |
| 計 | | | | | 専門科目計 80単位以上 | | | |
| 合計 | | | | | | 124単位以上 (※注1) | | |
| 卒業要件 | 教職課程 | 日本史概説(教)、東洋史概説(教)、西洋史概説(教)、人文地理学概説(教)、自然地理学概説(教)、経済学概説(教)、地誌学概説(教)、法学概説(教) | | | | | | |

注1:人間科学科の卒業要件は、教養科目24単位以上＋専門科目80単位以上（＋教養科目または専門科目から20単位以上）＝124単位以上の修得となります。

注2:他学部他学科授業科目の単位を修得した場合、別に定める区分に従い、教養科目として8単位(教養科目群から修得すべき最低修得単位数からは除く)、専門科目として24単位を上限に課程修了の要件に加工します。

注3:科目名に続く○内の数字は単位数を表します。 注4:2019年度以降入学生については、専門科目として上記一覧表以外に教職課程を履修している学生のみが履修できる科目があります。詳細は、諸資格課程の教職課程の箇所を確認してください。

《2022年度入学生に適用》